

後期高齢支援システム等標準化検討会 検討・課題一覧

後期高齢支援システム標準化検討会
第5回 検討会
2023年3月27日 【資料7】

令和5年3月20日 現在

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
3	完了	R.4.2.14	第2回 市区町村WT	その他	<p>第1回WTにて議題にあがった葬祭費の支給に関する広域連合への確認ができていれば結果を教えてください。 (1広域のみ葬祭費の支給を広域標準システムに機能がないと説明して市区町村でシステム改修を含めて実施を依頼している広域連合がある。この広域連合に後期高齢支援システムで標準仕様書に要件記載しない場合、カスタマイズによる機能追加はできなくなることについて意見を聞いてほしいと依頼があった)</p>	<p>3月3日に開催される広域連合向けの広域標準システムに関する説明会内で自治体標準化についても説明を行う。当該資料内で影響内容の1つとして広域連合向けに説明を実施済。(全広域連合向け) 当日、該当の広域連合から質疑等はなし。</p> <p>【7/26状況更新】 全国意見照会で広域連合から葬祭費を広域連合で実施することについて対応が困難との強い意見があったことを受け、東京広域向けに資料を作成し、ヒアリングを実施。提示した対応案とした場合に広域連合での運用実施可否についてご連絡をいただくこととした。 ただし、対応する場合、少なからず広域標準システムの機能開発が必要となることから当該対応案での対応要否について厚労省にも並行して確認中。</p> <p>【8/1状況更新】 ベンダ分科会、市区町村WTにおいて、現状、標準仕様の対象外とはするが対応方法については継続協議とするという扱いとさせていただいた。</p> <p>【3/1状況更新】 個別事項となるため今後の分科会、WTでの議論・報告は終了とさせていただきます。</p>	事務局	R.4.8.31 ⇒ R.5.3.31	R.5.3.10	<p>広域標準システムで葬祭費の支給金額について初期値を変更することは可能だが、市区町村ごとに初期値を設定する機能はない。</p> <p>東京広域としては、システムの実装を広域、市区町村どちらで実施するかはさておき、支給事務は市区町村ごとのままとすることを希望している。</p>
6	完了	R.4.2.14	第1回 市区町村WT	機能・帳票要件	<p>文字情報基盤の過渡期における機能要件について整理する。</p>	<p>広域標準システムの次期システムの対応内容等が決定し次第、その内容を踏まえて検討する。</p> <p>【7/26状況更新】 デジタル庁の横並び方針においても整理はされないとなったことも踏まえ、標準仕様書1.0版では要件などの記載は行わないこととした。</p> <p>【12/21状況更新】 文字要件については、デジタル庁で整理中のため今後変更となる可能性がある旨を機能・帳票要件に追記することとした。</p> <p>【3/1状況更新】 文字情報基盤の対応方針が確定しないこと、個別検討事項ではなく横断的な検討事項となるため、分科会、WTでの議論・報告は終了とさせていただきます。</p>	事務局	未定	R.5.3.10	<p>文字の取り扱いについてはデジタル庁における共通方針が未決定であることも踏まえ、時期については「未定」としている。</p>

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
8	完了	R.4.2.14	第1回 検討会	機能・帳票要件	引越しワンストップに関する機能要件を反映する。	引越しワンストップに関する制度内容、要件が判明し次第反映する。 【7/26状況更新】 デジタル庁の横並び方針においても整理はされないとなったことも踏まえ、標準仕様書1.0版では要件などの記載は行わないこととした。 【12/21状況更新】 必要な法改正もしくは措置が検討されるまでは見送りとする。 【3/1状況更新】 横並び調整方針において機能要件が示され検討を行った結果、分科会、WT資料にて提示した機能・帳票要件の記載（案）のとおりに標準仕様書1.1版（案）に示すこととする。委員の承認が得られればクローズさせていただきます。 【3/20状況更新】 ベンダ分科会、市区町村WTおよびその後の意見伺いにおいても特に指摘等はなかった。標準仕様書への反映を実施したため、本件はクローズとする。	事務局	未定	R.5.3.20	まず、後期高齢としてどこまでをサービスの要件にするのか、住記との連携要件はどうするかなどの要件が定まらないと機能要件に落とせないため、時期については「未定」としている。
9	完了	R.4.2.14	第1回 市区町村WT	機能・帳票要件	マイナポータルびったりサービスへの対応について制度要件を含め対応する手続きが整理された場合、機能要件に反映する。	自治体へのヒアリングの結果、以下の3件が対象候補として挙げられている。 ・「納付方法変更の申請」 ・「振替口座の登録申請」 ・「納付証明書の発行受付」 【7/26状況更新】 制度要件の整理なども行われていないことも踏まえ、標準仕様書1.0版では要件などの記載は行わないこととした。 【12/21状況更新】 必要な法改正が検討されるまでは見送りとする。 【3/1状況更新】 横並び調整方針において機能要件が示され検討を行った結果、分科会、WT資料にて提示した機能・帳票要件の記載（案）のとおりに標準仕様書1.1版（案）に示すこととする。委員の承認が得られればクローズさせていただきます。 【3/20状況更新】 ベンダ分科会、市区町村WTおよびその後の意見伺いにおいても特に指摘等はなかった。標準仕様書への反映を実施したため、本件はクローズとする。	事務局	未定	R.5.3.20	まず、後期高齢としてどの手続きを対象とするのか等の要件が定まらないと機能要件に落とせないため、時期については「未定」としている。
12	完了	R.4.8.29	第3回 検討会	機能・帳票要件	DV加害者情報の取込について取込が必要な情報とするのかどうかを検討する。	【12/21状況更新】 意見照会において必要性等についてご意見をいただき、その結果をもとに取扱いについて議論していくこととする。 【3/1状況更新】 意見照会結果を踏まえ、DV加害者情報の取込については標準オプション機能として規定すること。詳細については分科会、WT資料にて提示。委員の承認が得られればクローズさせていただきます。 【3/20状況更新】 ベンダ分科会、市区町村WTおよびその後の意見伺いにおいても特に指摘等はなかったことから、本件についてはクローズとする。	事務局	未定	R.5.3.20	

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
14	完了	R.4.8.29	第3回 検討会	機能・帳票要件	未登録外字の機能上の考慮について現状のデジタル庁の整理では、新たな外字は発生しないとされているため、当該機能の考慮上の可否について検討する。	<p>【12/21状況更新】 #6と同様、文字要件については、デジタル庁で整理中のため今後変更となる可能性がある旨を機能・帳票要件に追記することとした。</p> <p>【3/1状況更新】 デジタル庁より文字情報基盤の対応方針が示され次第、対応を検討することとする。</p> <p>【3/20状況更新】 MJ+の実装時期等が見えていないこともあり、標準仕様書1.1版時点では完全に外字に関する機能を削除することはできないと判断し、機能要件上は残したままとした。</p>	事務局	未定	R.5.3.20	
17	完了	R.4.8.29	第3回 検討会	その他	データ要件、連携要件の【第1.0版】への対応。1.0版の内容を踏まえて抜け漏れがないか、また、標準仕様書側に戻すべきものがないかを確認する。	<p>【12/21状況更新】 デジタル庁から具体的なフィードバック依頼が示され次第、対応することとする。</p> <p>【3/1状況更新】 データ要件（基本データリスト）については、事務局に対しデジタル庁より適宜改定案が展開されており、事務局においては改定案と後期標準仕様書間で差異がある点について確認し、デジタル庁に対し情報提供を行っており、これを踏まえてデジタル庁にて改定案の見直しを行っていただいている状況。 上記の状況であることを踏まえ、基本データリストの改定に向けて引き続きデジタル庁と連携しながら進めていくことを前提に、基本データリストと後期標準仕様書間の調整については、検討・課題事項としてはクローズさせていただきたい。 一方、連携要件（機能別連携仕様）については、横並び調整方針にて示されている庁内データ連携に関する規定において、上記に示したデータ要件の対応と同様に、各業務の標準仕様書と整合性を確保する方針が示されており、今後デジタル庁と連携しながら必要に応じ標準仕様書の見直しを行う必要があるが、デジタル庁より機能別連携仕様を示され、修正依頼があった際に対応を行うものとし、基本データリストと同様、検討・課題事項としてはクローズさせていただきたい。</p> <p>【3/20状況更新】 1.0版（確定版）の内容までは反映済みのためクローズとする。</p>	事務局	未定	R.5.3.20	
18	完了	R.4.8.29	第3回 検討会	帳票レイアウト	ユニバーサルデザイン対応した帳票レイアウトの検討を行う。	<p>【12/21状況更新】 標準仕様書1.1版（案）に対応方針案を示し、意見照会に諮ることとする。</p> <p>【3/1状況更新】 意見照会結果を踏まえて対応案を整理し、標準仕様書1.1版（案）に示すこととする。 詳細については分科会、WT資料にて提示。 委員の承認が得られればクローズさせていただきたい。</p> <p>【3/20状況更新】 パンダ分科会、市区町村WTおよびその後の意見伺いにおいても特に指摘等はなかったことから、本件についてはクローズとする。</p>	事務局	R5.12.27	R.5.3.20	

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
20	完了	R. 4. 8. 29	第3回 検討会	帳票レイアウト	ユニバーサルデザイン対応した帳票レイアウトの規定の検討とあわせて帳票の文字フォントを大きくしたデザインの検討を行う。(宛名の領域もあわせて検討する)	<p>【12/21状況更新】 #18と同様、標準仕様書1.1版(案)に対応方針案を示し、意見照会に諮ることとする。</p> <p>【3/1状況更新】 意見照会結果を踏まえて対応案を整理し、標準仕様書1.1版(案)に示すこととする。 詳細については分科会、WT資料にて提示。 委員の承認が得られればクローズさせていただきたい。</p> <p>【3/20状況更新】 ペンタ分科会、市区町村WTおよびその後の意見伺いにおいても特に指摘等はなかったことから、本件についてはクローズとする。</p>	事務局	R. 5. 12. 27	R. 5. 3. 20	
22	仕掛	R. 4. 12. 21	第4回 検討会	機能・帳票要件	令和4年12月15日の社会保障審議会 医療保険部会において、後期高齢者の負担増に対応するための激変緩和措置の見直し内容が示されたため、今後の法案審議の結果を受けて、関連する機能要件の検討を行う。	<p>【3/1状況更新】 激変緩和措置の具体的な条件等が示されていないことから、1.1版では持越し事項とし、最終的に被保険者への通知がどのように見直されるか、また広域標準システムにおける改修内容がどのようになるか等が決定次第、その内容を可能な範囲で標準仕様書1.2版(仮名)(案)という形で公開する。</p>	事務局	R. 5. 9. 30		
23	仕掛	R. 4. 12. 21	第4回 検討会	機能・帳票要件	デジタル庁が整理する事項に関してデジタル庁での検討結果を踏まえて標準仕様書に反映を行う。	<p>【3/1状況更新】 美装類型の点検については標準仕様書1.1版(案)に反映済みのため対応完了とする。</p> <p>横並び調整方針に示された統合収滞納管理については、共通機能標準仕様書に規定されることは明確となったため、本紙への記載修正は行うこととするが、連携要件の見直し・検討については、共通機能標準仕様書及びデータ要件・連携要件の改定版が展開され次第、検討するものとする。</p> <p>横並び調整方針に示された保存期間を経過した情報の削除については、分科会、WT資料にて提示した機能・帳票要件の記載(案)のとおり標準仕様書1.1版(案)に示すこととする。委員の承認が得られればクローズさせていただきたい。</p> <p>政令指定都市向け機能要件については、デジタル庁より成案が展開され次第、標準仕様書1.1版(案)に取り込み可能かどうか確認して方針を決めることとする。</p> <p>【3/20状況更新】 ①美装類型の点検・・・完了 ②共通機能要件の見直し・・・(案)の内容で取込 ⇒(確定稿)での変更がないかは確認が必要【残】 ③政令指定都市向け機能要件・・・未取込【残】 ④統合収滞納関連・・・本紙で吸収 ⇒求める要件は変わらないが最終的には機能・帳票要件に反映が必要【残】</p> <p>③については今後の整理次第。 ②④については、機能要件への影響はないため、1.1版確定には影響はなく1.2版(仮名)以降への持越しが妥当と判断</p>	事務局	未定		

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
24	未着手	R.5.3.20	第5回 検討会	機能・帳票要件	R6年秋ごろに向けてマイナンバーカードと保険証の一体化に関する制度改正が予定されている。 後期高齢支援システムでは被保険者証の再発行機能などを有している関係で影響が見込まれるため、当該制度改正の内容を標準仕様書に反映する必要がある。	【3/20記入】 現時点、当該制度の取り扱いについては詳細について検討がなされている段階にあり、1.1版時点では反映することができない。 実際にシステムの稼働が求められるのはR6年度となるため、1.2版（仮名）以降への持越しが妥当と判断	事務局	未定		
25	未着手	R.5.3.20	第5回 検討会	標準仕様書（本紙）	特定健診業務については国保の検討の中でサブシステム化を行う検討がなされている。機能・帳票要件への直接的影響はないと想定しているが標準仕様書（本紙）で規定している健康管理事業に関する内容について見直す必要があるかを確認する必要がある。	【3/20記入】 現時点、健康管理事業の取り扱いについては方針が整理されるまでの対応を標準仕様書（本紙）に記載しているため1.1版での取込は必要ない。内容が整理された後、反映するとして1.2版（仮名）以降への持越しが妥当と判断	事務局	未定		